

調査期間・海域 令和3年3月30日 豊後水道中・南部
調査船 試験船「よしゆう」 * 近年値:3月(2018-2020)の調査における過去3年間平均

- 1 表面水温および透明度(表1、図1)……水温は中部高め、透明度は中部・南部で高め
豊後水道中部(Stn.1~3及びStn.7)および豊後水道南部(Stn.4~6)の表面水温は、それぞれ17.5~18.9℃(平均18.2℃ 近年値17.2℃)、18.4~18.6℃(平均18.5℃ 近年値18.3℃)で、中部で高め、南部で近年並みであった。
透明度は、中部では14.0~15.0m(平均14.5m 近年値12.8m)、南部では14.0~15.0m(平均14.3m 近年値12.9m)で、中部・南部ともに近年値よりも高めであった。
- 2 流れ藻の分布(図1)……近年よりやや少ない
調査時の流れ藻視認個数は1.6個/10マイル(中部3.2個/10マイル、南部0個/10マイル)で、近年値2.1個/10マイルをやや下回った。本調査では、南部では流れ藻は確認されず、採取した流れ藻の重量は平均4.8kgで、近年値の10.9kgより小さかった。
- 3 モジャコの採捕状況(表1)……モジャコは少ない(34尾/調査日)
採捕尾数は合計34尾(中部34尾、南部0尾)で、近年値の96尾を大きく下回った。
流れ藻1kg当たりのモジャコ採捕尾数は0.5尾/kg(中部1.0尾/kg、南部0尾/kg)で、近年値の1.8尾/kgを下回った。モジャコ以外の魚種はメバル属47尾、ボラ4尾、イシガキダイ2尾、ハナオコゼ2尾、カサゴ亜目1尾、カニ類28尾、エビ類2尾が採捕された。
- 4 モジャコの大きさ……近年値より大きい
採捕されたモジャコの尾叉長は平均62.8mm(20~121mm)で近年値の45.5mmより大型であった。

表1 海況及びモジャコの採捕状況

調査項目	海域	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	近年値
		【4/26】	【3/24】	【3/28】	【3/29】	【3/25】	【3/30】	
水温 (°C)	中部	19.6	17.3	17.3	17.2	17.1	18.2	17.2
	南部	21.4	19.9	17.9	18.2	18.7	18.5	18.3
塩分 (psu)	中部	34.7	34.8	34.6	34.6	34.6	34.7	34.6
	南部	34.8	34.9	34.5	34.7	34.7	34.7	34.6
透明度 (m)	中部	18.0	19.3	12.3	11.3	14.8	14.5	12.8
	南部	18.2	18.5	9.8	11.7	17.3	14.3	12.9
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	中部	2.6	1.3	0.4	2.0	2.4	3.2	1.6
	南部	0.0	12.5	1.2	6.6	1.7	0	3.2
流れ藻採取数	中部	3	1	1	1	5	8	2.7
	南部	0	3	3	3	4	0	4.3
モジャコ採捕尾数 (調査日数当たり)	中部	229	0	1	4	8	34	4.3
	南部	0	4	212	54	9	0	91.7
流れ藻1kg当たりの モジャコ採捕尾数	中部	2.6	0.0	0.1	0.2	1.1	1.0	0.4
	南部	-	0.8	5.9	1.0	0.1	0	2.3
モジャコ平均 尾叉長(mm)	中部	26.2	-	35.0	90.9	21.7	62.8	49.2
	南部	-	46.1	47.6	62.8	26.8	-	45.7

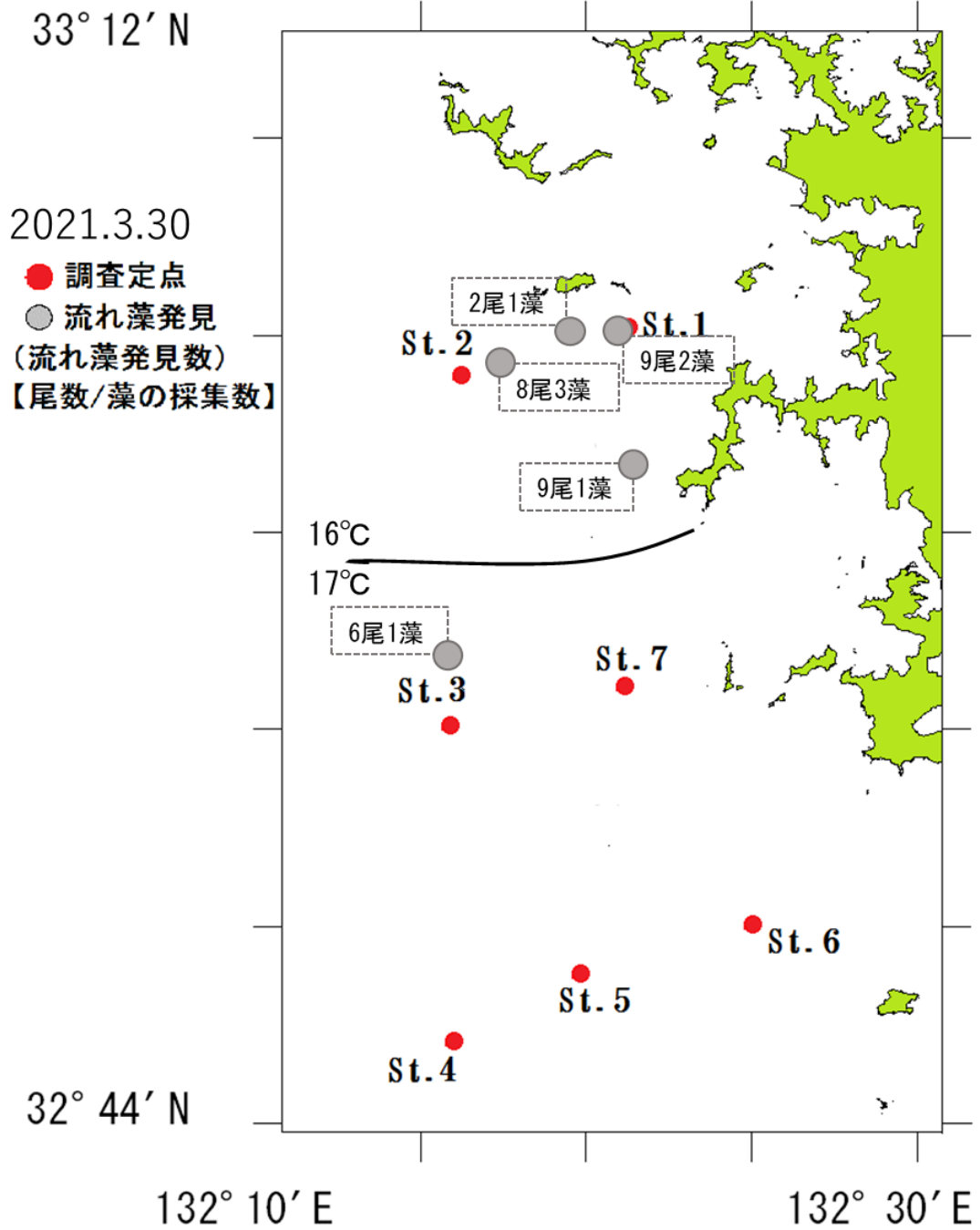
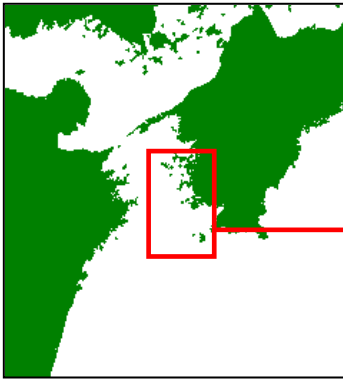


図1 漁場一斉調査(もじゃこ調査)定点図

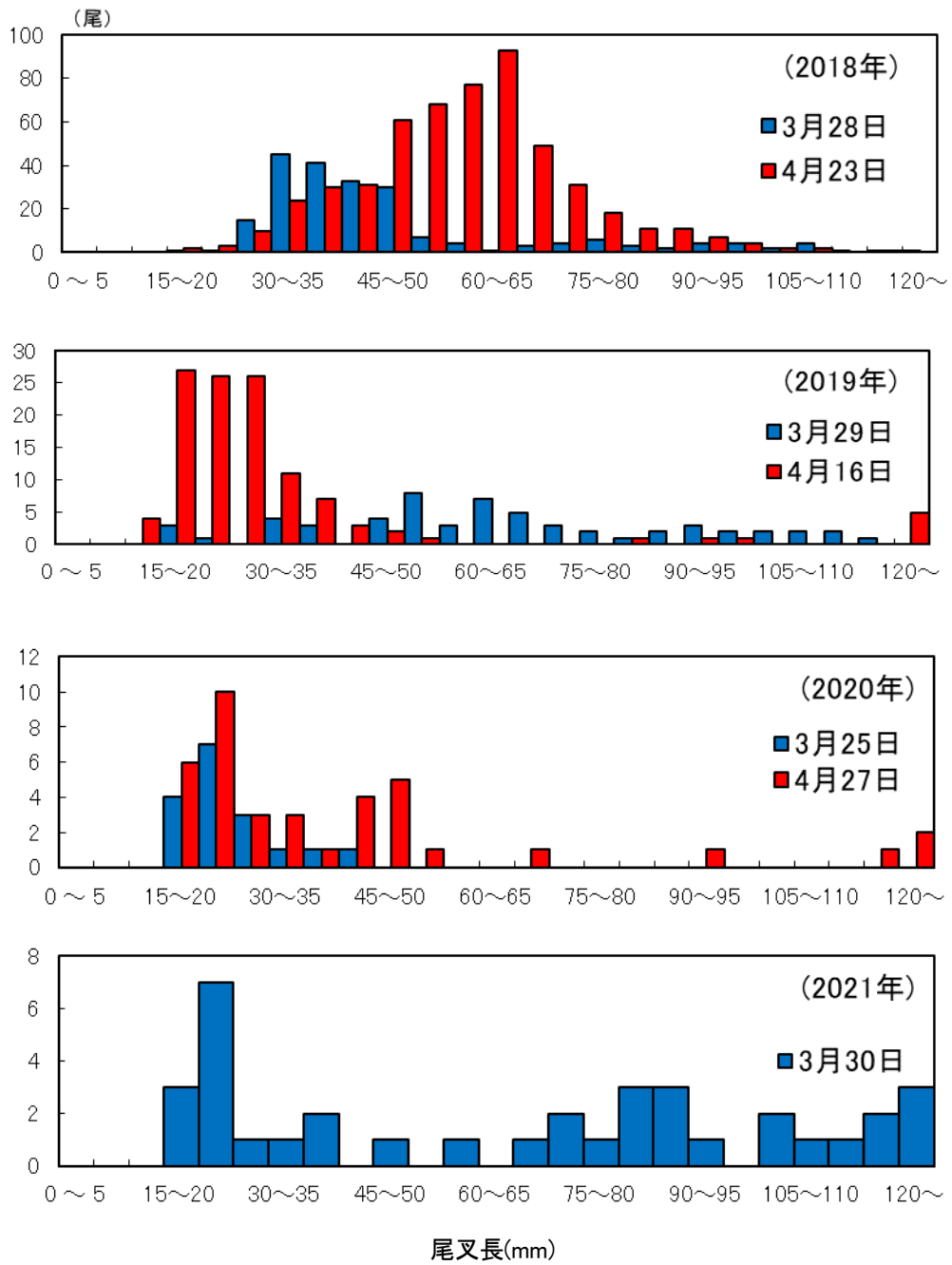
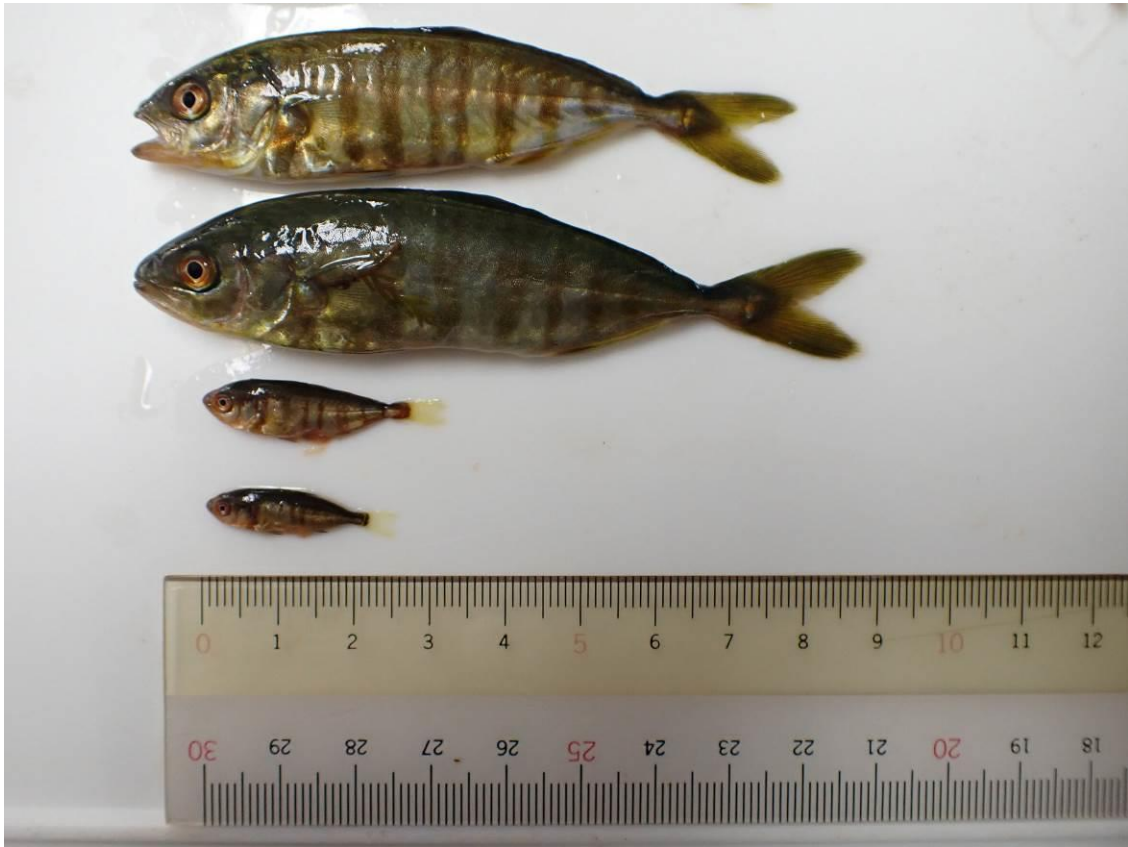


図2 採捕年別モジャコ体長組成



参考資料 採捕されたモジャコの写真